

# ○西部清掃工場維持管理の状況に関する情報

【2023年12月】

## ・一般廃棄物の種類及び処理量

掲載日: 1月22日

廃棄物の種類	1系	2系	3系	計	単位	備考
可燃ごみ	3,532.79	0.00	3,392.64	6,925.43	t/月	
他工場焼却灰	436.04	0.00	435.62	871.66	t/月	「南部清掃工場」で発生する焼却灰を処理します。
下水汚泥	10.31	0.00	1.38	11.69	t/月	
計	3,979.14	0.00	3,829.64	7,808.78	t/月	

## ・炉内の燃焼温度等

掲載日: 1月22日

項目	1系	2系	3系	単位	測定位置	結果取得日	備考
燃焼ガス温度	1,263	—	1,249	°C	スラグホール	1月4日	連続測定 of 月平均値
集塵機流入ガス温度	170.7	—	170.1	°C	集塵機入口	1月4日	〃
排ガス中一酸化炭素濃度	4.5	—	5.4	ppm	煙突	1月4日	〃

(排ガス中一酸化炭素濃度は酸素濃度12%換算値)

## ・堆積ばいじんの除去日

掲載日: 1月22日

減温塔、除塵用バグフィルタに堆積したばいじんは、スクレパー型掻き出し機で連続的に毎日除去します。

## ・排ガスの測定結果

(排出ガスの濃度は、法規制値よりもさらに低い自主規制値を定め、環境への負荷を最小限にしています。)

ばいじん濃度等掲載日: 1月22日

ダイオキシン類毒性等量掲載日: —

項目	1系	2系	3系	単位	法規制値	自主規制値	備考	
採取位置	煙突	煙突	煙突	—	—	—		
採取年月日	12月4日	—	12月5日	—	—	—		
結果取得日	12月8日	—	12月8日	—	—	—		
ばいじん濃度	<0.002	—	<0.002	g/m <sup>3</sup> N	0.04	0.01	大気汚染防止法	
硫黄酸化物(SO <sub>x</sub> )	濃度	<1	—	<1	ppm	1308	50	大気汚染防止法
	K値	<0.006	—	<0.008	—	7.0	—	
窒素酸化物(NO <sub>x</sub> )濃度	25	—	25	ppm	250	50	大気汚染防止法	
塩化水素(HCl)濃度	22	—	23	ppm	430	45	大気汚染防止法	
一酸化炭素(CO)濃度	11	—	12	ppm	100	30	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
ガス状水銀濃度	18	—	2.4	µg/m <sup>3</sup> N	—	—		
粒子状水銀濃度	—	—	—	µg/m <sup>3</sup> N	—	—		
全水銀(Hg)濃度	—	—	—	µg/m <sup>3</sup> N	50	—	大気汚染防止法	
ダイオキシン類毒性等量	測定日	—	—	—	—	—		
	結果取得日	—	—	—	—	—		
		—	—	—	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1		0.01

(ばいじん、窒素酸化物、塩化水素、一酸化炭素、水銀及びダイオキシン類は酸素濃度12%換算値)

## ・ダイオキシン類総排出量

(施設外に出される物質(排ガス、埋立物、有効利用物)中のダイオキシン類総排出量を、ごみ1トン当たりで表したものを)

掲載日: —

項目	総排出量	単位	法規制値	自主規制値	備考
ダイオキシン類	—	µg-TEQ/t	※	4.25	—

※法規制値は定められていません。